

株式会社 三菱東京UFJ銀行

投資型年金保険



変額個人年金保険(07)終身D3型

アクサ生命保険株式会社 

redefining / standards

特別勘定（世界分散型20MU）

月次運用実績レポート

2011年7月



三菱UFJ投信

【利用する投資信託の委託会社】 三菱UFJ投信株式会社

三菱UFJ投信株式会社は、2005年10月の合併により、幅広い商品ラインアップと充実した販売網、そして様々な商品カテゴリーに対応できる運用体制を確立いたしました。

引き続き、広くお客さまのニーズと信頼にお応えし、質の高い運用とサービスを誠実にご提供することを目指して参ります。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用対象として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていきますので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2011年7月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社で作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2011年7月]

【日本株式市場】

7月の国内株式市場では、東証株価指数(TOPIX)は下落しました。上旬は、米国においてISM(米供給管理協会)製造業景気指数が持ち直しの傾向を示したことや6月調査の日銀短観で、景況感の先行きに改善がみられたことを好感し、国内株式市場は上昇しました。中旬にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)のバーナンキ議長が議会証言の中で、米国景気の減速や米国の債務上限の引き上げ問題に対する懸念について言及したことやギリシャを中心とする欧州債務問題への懸念が高まったことによる欧米の景気先行き不安に加え、世界的なリスク回避の流れを背景とした円高進行などを受け、国内株式市場は下落しました。下旬は、欧州におけるギリシャへの財政支援策がまとまり、債務不安が一旦後退したことを好感し、株式市場が反発する場面もありました。しかし、米国の債務上限引き上げを巡る議論の決着が不透明な状況の中、為替市場において一段の円高米ドル安が進んだことが重石となり、国内株式市場は軟調な展開となりました。

【外国株式市場】

7月の米国株式市場は下落しました。月前半は、ISM製造業景気指数が予想を上回って改善したことを受け、株式市場は一時上昇しました。その後は欧州債務危機が拡大するとの懸念に加え、米国民議会とオバマ政権が財政赤字の削減で合意できなかったことなどを嫌気し、下落に転じました。月後半は、2011年4-6月期の企業決算が概ね好調に推移したことやオバマ大統領が、共和党が提案する債務削減案に合意する意向を示したとの報道などを受け、株式市場は一時持ち直しの動きとなりました。ただし、その後は債務上限引き上げ交渉が決裂し、債務削減問題への懸念が高まったことなどを背景に株式市場は下落しました。欧州株式市場では、ドイツ株式市場は下落しました。月前半は、格付会社がギリシャ国債を債務不履行とみなす可能性が高まったことなどから、信用不安はイタリアやスペインなどにも拡大し、欧州株式市場は急落しました。月後半は、ユーロ圏緊急首脳会議においてギリシャ第2次支援策がまとまったことから、欧州株式市場は反発しましたが、イタリアやスペインに対する信用不安は払拭されず、米国の債務上限引き上げ交渉に対する不透明感もあって、欧州株式市場は月末にかけて下落しました。

【日本債券市場】

7月の国内債券市場では、長期金利(新発10年国債利回り)は低下(債券価格は上昇)しました。上旬は、6月調査の日銀短観において、大企業中心に業況の先行きに明るさがみられたことや6月景気ウォッチャー調査において景況の現状判断が東日本大震災発生前の水準を超える回復をみせたことを好感し、国内株式市場が上昇したことを受け、国内長期金利は上昇しました。中旬は、ギリシャなど欧州の債務問題に加え、米国の債務上限引き上げを巡る交渉が難航していることなどを背景に、欧米の景気の先行きに対する警戒感が高まり、安全資産としての債券買いが優勢となったことから、国内長期金利は低下しました。下旬には、欧州にてギリシャへの財政支援策が発表され、欧州債務問題への懸念が一旦後退したことを好感し、米国をはじめとする海外の長期金利が上昇へ転じたことから、国内長期金利も上昇しました。しかし、米国の債務上限引き上げを巡る交渉が一段と難航するにつれ、リスク回避姿勢の強まりから、国内長期金利は再び低下しました。

【外国債券市場】

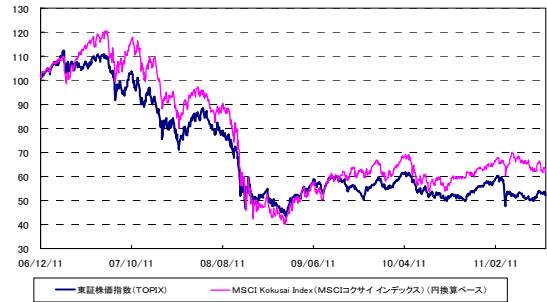
7月の米国債券市場では、長期金利(米国10年国債利回り)が低下(債券価格は上昇)しました。月前半は、6月の非農業部門雇人数が前月比小幅増にとどまったことなどを背景に、長期金利は大きく低下しました。月後半は、ユーロ圏緊急首脳会議でギリシャ第2次支援策決定がなされたことから、安全資産としての米国債への需要が弱まり、長期金利は一時下げ止まる動きとなりました。しかしながら、その後は米国連邦政府債務の上限引き上げに関する交渉が議会で難航し、米国債のデフォルト(債務不履行)懸念が強まったことなどを背景に長期金利は低下しました。欧州債券市場では、ドイツ10年国債利回りは低下しました。ユーロ圏緊急首脳会議においてギリシャへの第2次支援策がまとまったことから、ドイツの長期金利は一時上昇しましたが、イタリアやスペインに対する信用不安は払拭されず、米国の債務上限引き上げ交渉に対する不透明感もあって、ドイツの長期金利は低下しました。

【外国為替市場】

7月は米ドルが対円で下落しました。月前半は、6月のISM製造業景気指数が市場予想に反して上昇するなど、経済指標の改善を背景に米ドルは対円で堅調に推移しました。しかしながら、その後は6月の非農業部門雇人数が前月比小幅な増加にとどまったことから、米国の長期金利がやや大きく低下したことを受け、米ドルは下落に転じました。月後半は、ユーロ圏諸国の首脳がギリシャ向けの新たな救済策で合意したことを受け、危機拡大への懸念が後退、米ドルが対ユーロで下落し、つれて対円で米ドルは下落する動きとなりました。また、米国連邦政府債務の上限引き上げに関する交渉が議会で難航しており、米国債のデフォルトへの懸念が高まったことなどを背景に米ドルは対円で一段の下落となりました。7月はユーロが対円で下落しました。月前半は、ギリシャに対する目先の資金支援の決定やECB(欧州中央銀行)の利上げもありましたが、その後、ユーロ圏の銀行に対して実施された資産査定(ストレステスト)において、銀行資本の脆弱性が示されることへの懸念やギリシャ第2次支援に際して投資家の負担が発生し、格付会社がギリシャ国債を債務不履行とみなす可能性が高まったことから、信用不安はイタリアやスペインにも拡大し、ユーロは対円で急落しました。月後半は、ユーロ圏緊急首脳会議においてギリシャ第2次支援策がまとまったことから、ユーロは対円で一旦反発しましたが、イタリアやスペインに対する信用不安は払拭されず、ユーロは対円で再び下落しました。

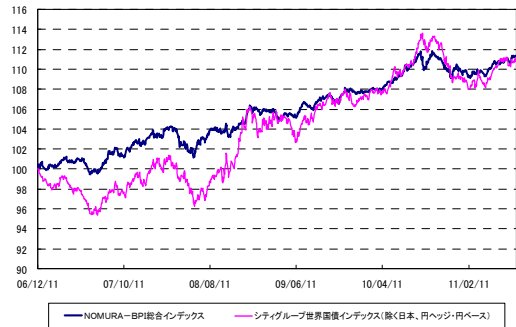
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2006年12月11日の前営業日を100として指数化しています。

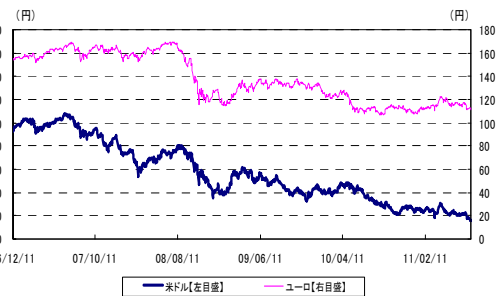


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフはNOMURA-BPI総合インデックスは2006年12月11日の前営業日を、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)は2006年12月11日をそれぞれ100として指数化しています。



外国為替市場の推移



・三菱東京UFJ銀行発表の対顧客直物電信売買相場の仲値(TTM)です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2011年7月)

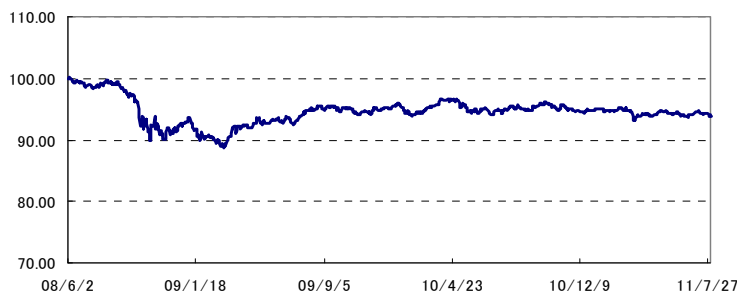
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の載量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2011年7月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型20MU	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、TOPIXマザーファンド受益証券10%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券40%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券10%、およびMUAMヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券40%を標準資産配分とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ● 各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1カ月に1回程度リバランスを行ない、これを修正し、標準資産配分を維持します。 ● 当ファンドの主なリスク <ul style="list-style-type: none"> ・市場リスク(価格変動リスク)(為替変動リスク) ・信用リスク ・流動性リスク
利用する投資信託	
三菱UFJバランスファンドVA 20型 〈適格機関投資家限定〉	

■特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニット・プライス		騰落率	
2011年7月末	93.89	過去1ヶ月	▲ 0.34%
2011年6月末	94.20	過去3ヶ月	▲ 0.60%
2011年5月末	94.49	過去6ヶ月	▲ 0.74%
2011年4月末	94.45	過去1年	▲ 1.06%
2011年3月末	94.35	過去3年	▲ 5.42%
2011年2月末	94.96	設定来	▲ 6.11%

・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年6月2日)を100.00として計算しております。

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型20MU	
	金額(千円)	比率
その他有価証券	6,798,485	99.7%
現預金・その他	19,841	0.3%
合計	6,818,326	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】

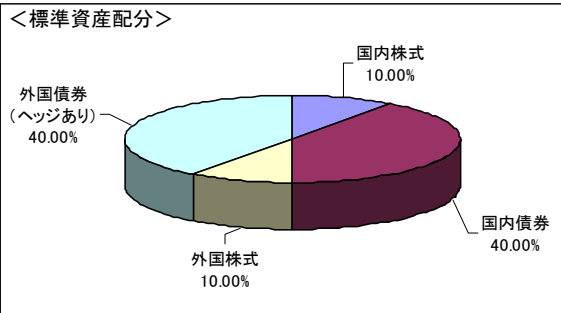
アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2011年7月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の運用状況 [2011年7月末日現在]

■ファンドの特色



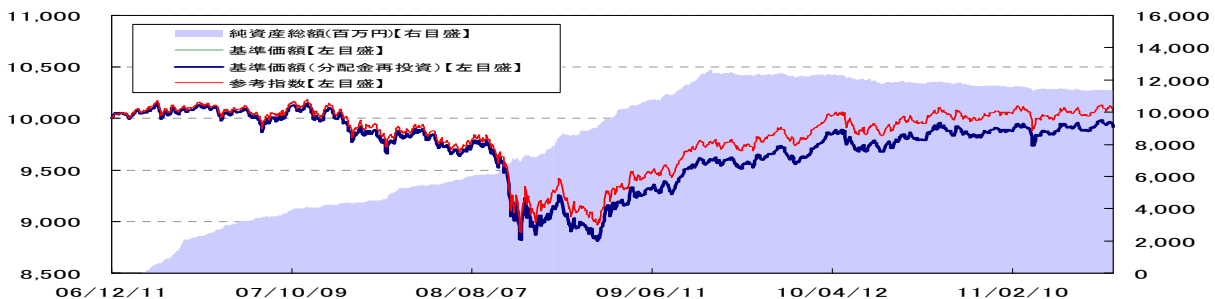
①TOPIXマザーファンド受益証券、日本債券インデックスマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券およびMUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。

②TOPIXマザーファンド受益証券10%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券40%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券10%およびMUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券40%を標準資産配分とし、これを維持します。

③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。
 なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.294%(税込0.28%)控除後の値)です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)10%、NOMURA-BPI総合インデックス40%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)
 (円換算ベース)10%およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2011/7/29	前月末	前月末比
基準価額	9,919円	9,931円	-12円
純資産総額(百万円)	11,314	11,382	-67

	基準価額	日付
設定来高値	10,152円	2007/2/27
設定来安値	8,810円	2009/3/10

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.12%	0.04%	0.53%	1.50%	1.84%	-0.81%
参考指数	-0.10%	0.08%	0.35%	1.25%	2.84%	0.69%
差	-0.02%	-0.04%	0.17%	0.25%	-1.01%	-1.50%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
 また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■資産構成

	標準 資産配分	ファンドの 資産構成
国内株式	10.00%	9.71%
国内債券	40.00%	39.85%
外国株式	10.00%	9.67%
外国債券(ヘッジあり)	40.00%	38.27%
短期金融資産	0.00%	2.50%
合計	100.00%	100.00%

・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。
 ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
 (注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■分配金実績(税引前)

	直前期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	-	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	-	0円

・1万円当たりの税引前分配金実績です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2011年7月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

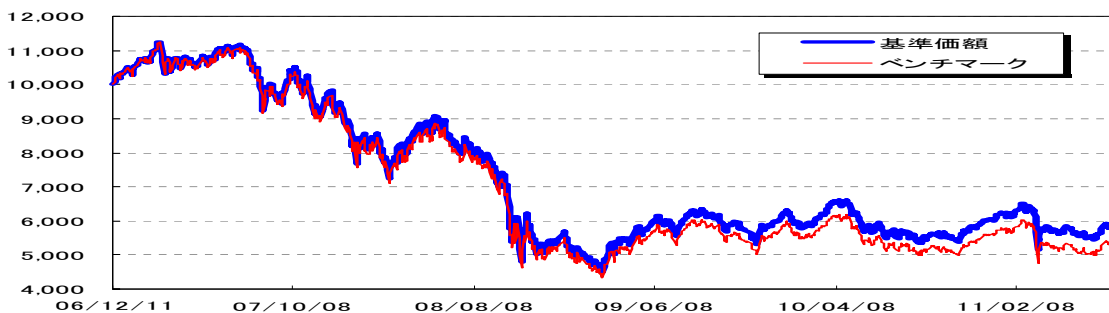
マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の運用状況 [2011年7月末日現在]

■マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の特色

・東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
 ・東証株価指数(TOPIX)から乖離するリスクと運用コストの極小化を目的として、定量的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築と適切な売買執行を行います。
 ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJバランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■資産構成

	2011/7/29	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	99.63%	99.56%	0.06%
内 現物	98.60%	97.51%	1.10%
内 先物	1.02%	2.06%	-1.03%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1669 銘柄)

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	3.52%	3.57%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.55%	2.58%
3	ホンダ	2.26%	2.29%
4	キヤノン	2.02%	2.05%
5	三井住友フィナンシャルグループ	1.59%	1.62%
6	三菱商事	1.38%	1.40%
7	みずほフィナンシャルグループ	1.34%	1.36%
8	ファナック	1.32%	1.34%
9	武田薬品工業	1.25%	1.27%
10	日本電信電話	1.22%	1.24%

・比率は純資産総額に対する割合です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.90%	-1.10%	-6.36%	1.28%	-31.28%	-43.04%
ベンチマーク	-0.92%	-1.23%	-7.55%	-0.96%	-35.46%	-47.95%
差	0.02%	0.13%	1.19%	2.23%	4.18%	4.90%

・騰落率は、三菱UFJバランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJバランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■株式組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	14.48%	14.46%
2	輸送用機器	10.30%	10.31%
3	銀行業	9.09%	9.10%
4	化学	6.08%	6.08%
5	情報・通信業	6.02%	6.02%
6	卸売業	5.57%	5.57%
7	機械	5.34%	5.34%
8	医薬品	4.73%	4.73%
9	小売業	3.85%	3.85%
10	陸運業	3.55%	3.55%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ: <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2011年7月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

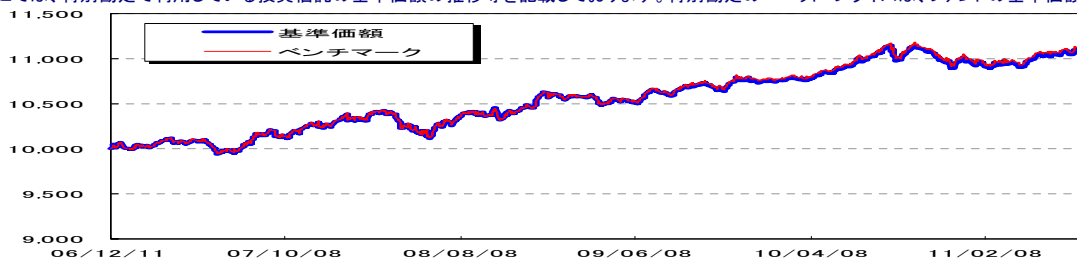
マザーファンド(日本債券インデックスマザーファンド)の運用状況 [2011年7月末日現在]

■マザーファンド(日本債券インデックスマザーファンド)の特色

・NOMURA-BPI総合インデックスに採用されている公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合インデックスと連動する投資成果を目指した運用を行います。
 ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
 ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、NOMURA-BPI総合インデックスです】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・NOMURA-BPI総合インデックスは野村證券株式会社が公表している指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切関係ありません。

■資産構成

	2011/7/29	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	99.14%	99.46%	-0.32%
内 現物	99.14%	99.46%	-0.32%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.39%	1.10%	1.30%	0.68%	7.62%	11.07%
ベンチマーク	0.39%	1.08%	1.32%	0.71%	7.84%	11.34%
差	0.00%	0.02%	-0.02%	-0.04%	-0.22%	-0.28%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	8.16年	7.74年
修正デュレーション	6.83年	6.83年
複利利回り	0.78%	0.79%

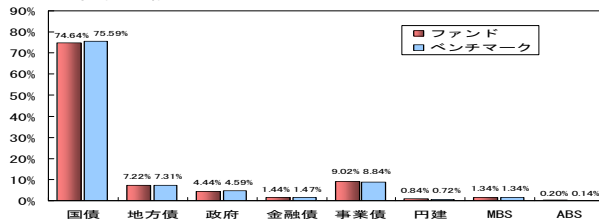
・数値は、債券現物部分について計算しています。
 ・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
 ・修正デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、修正デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
 ・「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
 ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

■公社債組入上位10銘柄

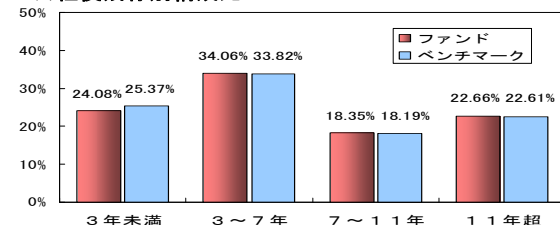
(組入銘柄数: 702 銘柄)

順位	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第71回利付国債(5年)	国債	1.300%	2013/3/20	3.81%
2	第68回利付国債(5年)	国債	1.100%	2012/12/20	3.56%
3	第72回利付国債(5年)	国債	1.500%	2013/6/20	2.91%
4	第67回利付国債(5年)	国債	1.300%	2012/9/20	2.43%
5	第268回利付国債(10年)	国債	1.500%	2015/3/20	2.22%
6	第276回利付国債(10年)	国債	1.600%	2015/12/20	1.95%
7	第270回利付国債(10年)	国債	1.300%	2015/6/20	1.90%
8	第263回利付国債(10年)	国債	1.600%	2014/9/20	1.88%
9	第279回利付国債(10年)	国債	2.000%	2016/3/20	1.84%
10	第265回利付国債(10年)	国債	1.500%	2014/12/20	1.83%

■公社債種別構成比



■公社債残存別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2011年7月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

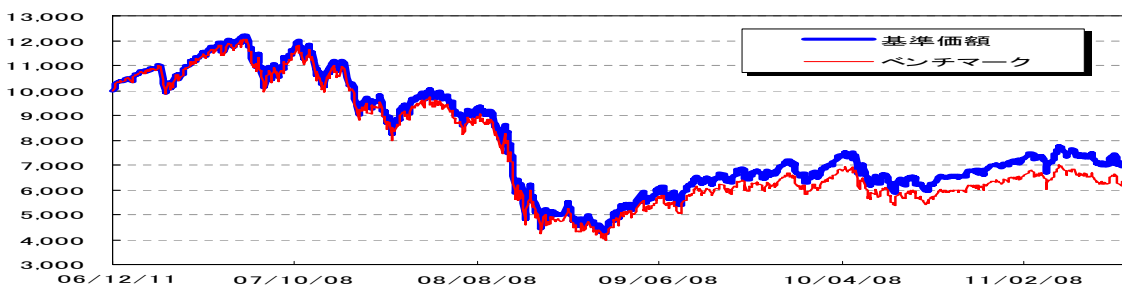
マザーファンド(外国株式インデックスマザーファンド)の運用状況 [2011年7月末日現在]

■マザーファンド(外国株式インデックスマザーファンド)の特色

・MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)に採用されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
 ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。また、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
 ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)は、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)はMSCI Inc. の財産であり、「MSCI」はMSCI Inc. のサービスマークです。

■資産構成

	2011/7/29	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	99.97%	100.02%	-0.06%
内 現物	98.21%	98.04%	0.17%
内 先物	1.76%	1.99%	-0.23%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-4.16%	-9.91%	-2.49%	7.71%	-25.26%	-31.15%
ベンチマーク	-4.09%	-10.19%	-4.02%	5.14%	-30.72%	-38.59%
差	-0.07%	0.28%	1.52%	2.57%	5.45%	7.43%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■株式組入上位10銘柄

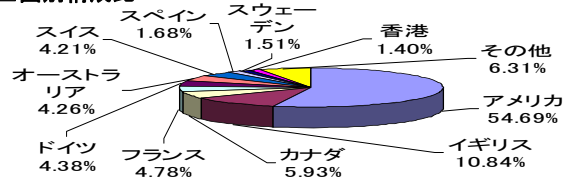
(組入銘柄数: 1274 銘柄)

銘柄	国名	業種	ファンド	ベンチマーク
1 EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.75%	1.78%
2 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	1.56%	1.59%
3 INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.98%	0.98%
4 NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.96%	0.97%
5 CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.92%	0.93%
6 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.91%	0.92%
7 GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.83%	0.85%
8 JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	0.77%	0.79%
9 HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	0.76%	0.77%
10 PROCTER & GAMBLE CO/THE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.75%	0.76%

・比率は純資産総額に対する割合です。

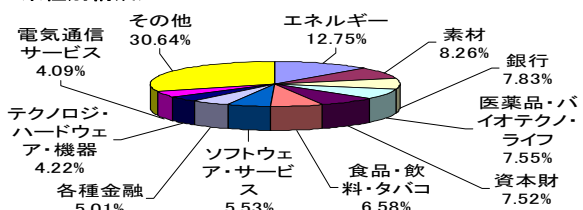
(注) 当ページの比率につき、REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■国別構成比



・比率は現物株式評価額に対する割合です。
 ・国名は、投資対象銘柄の主要取引所を表しています。

■業種別構成比



・比率は現物株式評価額に対する割合です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ: <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2011年7月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

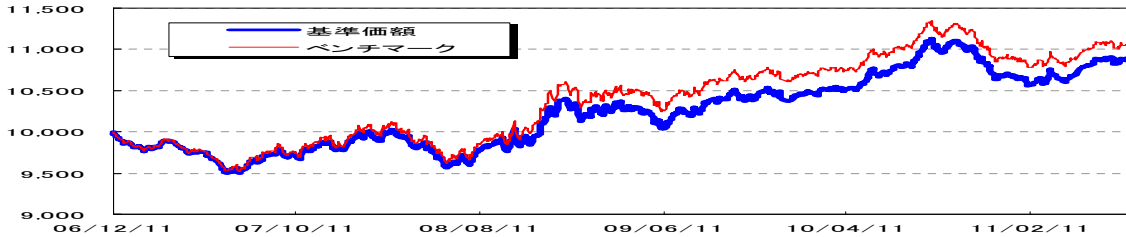
マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の運用状況 [2011年7月末日現在]

■マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の特色

・世界主要国の公社債(日本を除く)を主要投資対象とし、ベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を中長期的に上回る投資成果を目指して運用を行います。
 ・運用にあたっては、クオンツモデルを活用することにより主要国の各債券市場を分析し、債券の残存期間構成戦略を超過収益の源泉とします。また、為替変動リスクを回避するため、原則としてフルヘッジを行います。
 ・株式への投資は、転換社債および転換社債型新株予約権付社債の転換等により取得したものに限りです。

■基準価額の推移【ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)を10,000として指数化しています。
 ・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。

■資産構成

	2011/7/29	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	94.80%	99.28%	-4.48%
内 現物	94.80%	99.28%	-4.48%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

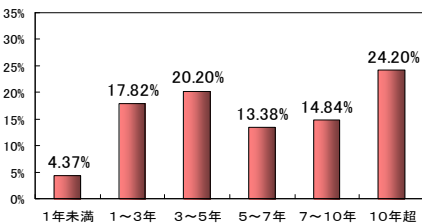
■公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 98 銘柄)

銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1 4.5 T-NOTE 151115	国債	4.500%	2015/11/15	アメリカ	3.98%
2 4.25 T-NOTE 131115	国債	4.250%	2013/11/15	アメリカ	3.44%
3 3.75 T-NOTE 130630	国債	3.75%	2013/6/30	アメリカ	3.40%
4 4.625 T-NOTE 161115	国債	4.625%	2016/11/15	アメリカ	3.38%
5 4.25 T-NOTE 141115	国債	4.250%	2014/11/15	アメリカ	2.77%
6 2.5 T-NOTE 150430	国債	2.500%	2015/4/30	アメリカ	2.66%
7 4.875 T-NOTE 160815	国債	4.875%	2016/8/15	アメリカ	2.47%
8 4.75 T-NOTE 140515	国債	4.750%	2014/5/15	アメリカ	2.42%
9 3.5 BUND 160104	国債	3.500%	2016/1/4	ドイツ	2.03%
10 5.5 O.A.T 290425	国債	5.500%	2029/4/25	フランス	1.98%

・比率は純資産総額に対する割合です。

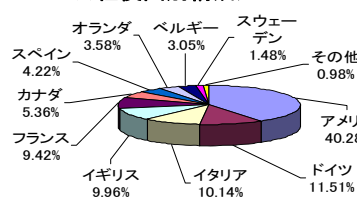
■公社債残存別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。

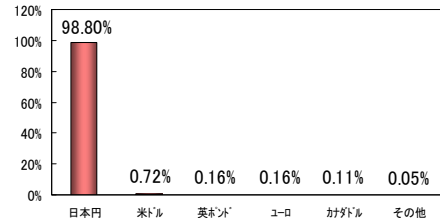
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■公社債国別構成比



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

■通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産 - 為替ヘッジ] で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ: <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- この保険は、積立金額および年金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債などで行っており、株式および公社債などの価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。
- 特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されます。特別勘定資産の運用リスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額などが一時払保険料を下回り、損失が生じる場合があります。
- 特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0%
		特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間(運用期間)中および特別勘定終身年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.55%
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用等に必要の費用	特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
		特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】


※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%*
		年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

変額個人年金保険(07)終身D3型「生涯年金」は現在販売しておりません。

【取扱者(生命保険募集人)】

 **株式会社 三菱東京UFJ銀行**
 MUFG
 三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]
0120-860-777
 月～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)
<http://www.bk.mufj.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>